

平成23年版

廣告美術職種
技能検定学科問題集

(ペイン + 1級)

社団法人全日本屋外広告業団体連合会 編

1級問題 共通

【広告物の種類及び構造】

- 1 常時又は一定の期間継続して屋外で表示されていれば、建植廣告板、けん垂幕、屋上看板のいずれもが、屋外廣告である。 (22年度 真偽)
- 2 屋外廣告物は、広い意味でいわゆるOOHと言われる定義にあたる。 (22年度 真偽)
- 3 野球場内、遊園地内、駅のホームなどに表示された廣告物は、屋外廣告物に該当する。 (21年度 真偽)
- 4 建築物の外壁に光を投影することによって表示する廣告物は屋外廣告物である。 (21年度 真偽)
- 5 スタンド式看板等の可動式廣告は、設置場所に関わらず屋外廣告物である。 (20年度 真偽)
- 6 ポスター・パネル及びバナーは屋外廣告物ではない。 (19年度 真偽)
- 7 屋上廣告板(塔)、壁面廣告板、突出廣告板、吊下廣告板、建植廣告板、シートポスター廣告板、立看板、電柱廣告板は、いずれも廣告板の設置位置による分類である。 (17年度 真偽)
- 8 屋外廣告物の範ちゅうに含まれない廣告メディアはどれか。 (22年度 択一)

- イ アドバルーン
ロ アーチ
ハ のれん
ニ チラシ

- 9 屋外廣告物はOOHに含まれるが、その正式名称として正しいものはどれか。 (21年度 択一)

イ Out Of House
ロ Outdoor Of Home
ハ Out Of Home
ニ Outdoor Of House
- 10 プラスチック成形加工サインの特色に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 真空成形サインは、均質な立体曲げ加工による量産サインである。
ロ 真空成形サインは、加熱した材料と型の間の空気を吸引して成形する。
ハ 圧空成形サインは、真空成形の逆の製法だが量産に不向きである。
ニ 圧空成形サインは、精度の高い曲げ加工に適した量産サインである。

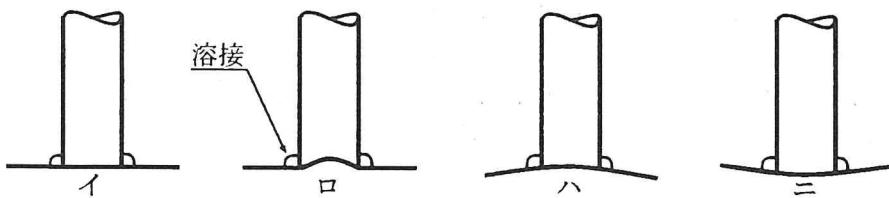
- 11 広告物の特色に関する記述として、適切でないものはどれか。 (18年度 択一)

イ 広告塔は、遠望効果を狙うものだが、建物屋上設置廣告塔は景観を阻害する恐れがある。
ロ 突出廣告板は、商店や会社への誘導機能を果たし、繁華街の主要な廣告物なので街並みに配慮する。
ハ センスのあるデザインによって統一された廣告併用街路灯は、街のイメージを高める。
ニ 電光廣告板は、情報機能効果を優先させるため、景観調和の対象外となる。
- 12 広告板の形態による分類として、正しい組合せはどれか。 (17年度 択一)

- イ 平型廣告板、箱型廣告板、立体廣告板、特殊廣告板
ロ 屋上廣告板、壁面廣告板、突出廣告板、吊下廣告板
ハ 塗装廣告板、プラスチック廣告板、粘着シート廣告板、金属銘板
ニ 建植廣告板、店頭廣告板、立看板、電柱廣告板

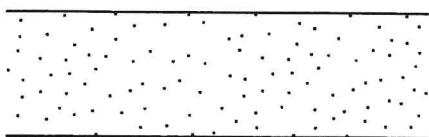
【広告物の素地の製作方法】

- 13 鉄骨組の屋外広告物は、鋼材枠の現場溶接を避け、できるだけ工場溶接で製作するとよい。 (22年度 真偽)
- 14 エアスプレーガンは、空気圧を高くして空気量を多くすると霧は粗くなる。 (21年度 真偽)
- 15 真空成形サインのプラスチックは、熱で軟化された板を型に乗せ圧縮空気で押し付け成形したものである。 (20年度 真偽)
- 16 箱文字(凸文字)に屋外用粘着シートを貼る場合は、表面を先に貼ってから立ち上がりを貼る。 (20年度 真偽)
- 17 鉄骨工事において、2枚以上の鋼材をボルト接合するときは、接合摩擦面を平滑に仕上げた後、防錆塗料を塗り、強力な力で締め付ける。 (19年度 真偽)
- 18 木枠布張り広告板の木枠の中桟は、枠と面一にする。 (18年度 真偽)
- 19 屋外広告物の鉄鋼枠組みの溶接作業の用語に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (22年度 択一)
- イ 溶けた金属の表面にできるカスをスラグという。
 - ロ 固まった溶材の中にできた気泡のことをブローホールという。
 - ハ 溶接表面にできるうろこ状の凹凸のことをビードという。
 - ニ 溶接の肉が盛り過ぎのところをアンダーカットという。
- 20 垂直板面塗装のスプレーガン操作法に関する記述として、誤っているものはどれか。 (21年度 択一)
- イ 吹付け距離が近すぎると、塗膜が厚くなり流れる。
 - ロ スプレーガンの運びは広告板面に対し、傾けて行う。
 - ハ スプレーガンの運びは、あまり速すぎると塗膜が薄くなり、遅すぎると垂れを生じる。
 - ニ 吹付け距離が遠すぎると、塗膜が薄くなり、塗装面の光沢がなくなる。
- 21 EP塗装の意味として、正しいものはどれか。 (20年度 択一)
- イ 塩化ビニル樹脂エナメル塗装
 - ロ 油性調合ペイント塗装
 - ハ エマルジョンペイント塗装
 - ニ 合成樹脂ペイント塗装
- 22 めっき加工をしないで表面仕上げする真鍮文字はどれか。 (18年度 択一)
- イ みがき金
 - ロ 赤銅
 - ハ 青銅
 - ニ ホワイトブロンズ
- 23 鉄骨金物の製作において、 $300 \times 300 \times t3$ の鉄板中央にΦ30のパイプ(鋼管)を溶接した場合の鉄の特性を図示したものとして、正しいのはどれか。 (17年度 択一)



【広告物の製作図の作成方法】

- 24 日本工業規格（JIS）の建築製図通則によれば、下図は、左官仕上げの材料構造表示記号である。
(22年度 真偽)



- 25 設計製図において破線は、かくれ線のことである。 (21年度 真偽)

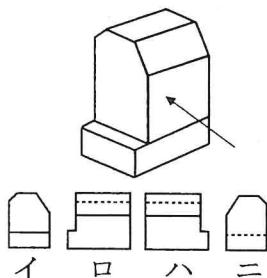
- 26 日本工業規格（JIS）によれば、製図に用いる文字について、漢字は 3.5mm 以上、仮名は 2.5mm 以上と定められている。 (20年度 真偽)

- 27 日本工業規格（JIS）によれば、製図で倍尺を表す場合は、「尺度 2:1」のように表す。
(19年度 真偽)

- 28 日本工業規格（JIS）の製図－寸法記入方法によれば、寸法補助記号の項目と記号の組合せのうち、誤っているものはどれか。

項目	記号	(22年度 択一)
イ 直径	Φ	
ロ 球の半径	R	
ハ 板の厚さ	t	
ニ 45℃の面取り	C	

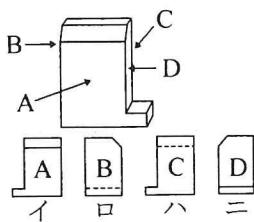
- 29 日本工業規格（JIS）の製図投影法における三角法の描き方として、矢印の方向から見た図はどれか。 (21年度 択一)



- 30 日本工業規格（JIS）の製図－文字に関する記述として、正しいものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 製図に用いる大文字のローマ字及び数字の高さは、4.0mm以上とする。
ロ 製図に用いる大文字のローマ字及び数字の高さは、3.0mm以上とする。
ハ 製図に用いる大文字のローマ字及び数字の高さは、2.5mm以上とする。
ニ 製図に用いる大文字のローマ字及び数字の高さは、1.5mm以上とする。

31 物体をA～Dの方向から見たときの正面図として、誤っているものはどれか。 (19年度 択一)



32 文中の()内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

建築基礎構造設計指針、鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説によって、高さが()mを超える広告物の基礎の計算をする。 (19年度 択一)

- イ 2
- ロ 4
- ハ 10
- ニ 15

33 平面的な描法の図面はどれか。 (17年度 択一)

- イ 外観図
- ロ 透視図
- ハ 投影図
- ニ 等測図

【広告物の取り付け方法】

34 鉄板製屋根材に広告物を取り付ける場合は、折り面の谷の部分をボルトで固定するとよい。 (22年度 真偽)

35 公道上における屋外広告物の取付工事は、交通に支障がなければ、所管する警察署長の許可は不要である。 (21年度 真偽)

36 地上で自立する広告物の基礎のアンカーボルトは、鉄筋コンクリート造の基礎を打設後、ボルトをコンクリートに差し込みセットするとよい。 (21年度 真偽)

37 独立広告塔のベースプレートのボルト穴とアンカーボルトのずれを避けるためには、基礎鉄筋枠にアンカー型でアンカーボルトを固定するとよい。 (18年度 真偽)

38 屋外広告板を壁面に取り付ける際、トラッククレーンによるつり上げ取付けが多く行われているが、その理由として適切でないものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 安全であるため
- ロ 工期が短縮できるため
- ハ 費用が節約できるため
- ニ 保安要員が不要であるため

39 ビルの壁面に突出し広告板を取り付ける場合、最も安全で適切な方法はどれか。 (22年度 択一)

- イ 建築時にアンカーボルトの位置を正確に決めておく。
- ロ 建築時にアンカーボルトを埋め込む。
- ハ 建築時にアンカーボルトを鉄筋及び鉄骨に溶接する。
- ニ 建築後アンカーボルトを埋めコーティングする。

40 広告物等取付けに用いる接合金物の分類として、誤っているものはどれか。

接合金物	分類	(22年度 択一)
イ 溶接用アンカー	- 金属用接合金物	
ロ 固定型インサート	- コンクリート用金物	
ハ ボルト	- 木材用金物	
ニ ハイテンションボルト	- 金属用金物	

41 後打ちアンカーボルトの効力は、コンクリート表面からボルトのくさび効果で、拡張した部分までの深さで決まるが、 $\phi 16\text{ mm}$ のボルトタイプで深さ 100 mm打ち込んだ場合、その許容引抜力は、次のどれか。 (20年度 択一)

- イ 0.5トン
- ロ 1 トン
- ハ 2 トン
- ニ 3 トン

42 建植廣告板の柱を埋め込む方法として、最も適切なものはどれか。 (19年度 択一)

- イ 根元を基礎コンクリートで固める。
- ロ 根元に根がらみを付け、基礎コンクリートで固める。
- ハ 根元に根切りをして、基礎コンクリートで固める。
- ニ 根元を柱の1/2以上埋め込む。

43 廣告板のつり下げに使用するつりボルトの耐力を材質により比較すると、大きいものから順に並べたものは、次のどれか。 (18年度 択一)

- イ SS400 > SUS304 > 鋳物製
- ロ SUS304 > 鋳物製 > SS400
- ハ 鋳物製 > SS400 > SUS304
- ニ SUS304 > SS400 > 鋳物製

44 屋外廣告物の基礎コンクリートを造る際の記述として、正しいものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 練りませから打終りまでの時間は、25℃以上で120分を限度とする。
- ロ 打込み時のコンクリートのやわらかさ等による施工軟度をワーカビリティという。
- ハ 生コンの強度はコンクリートを打ち込んだ日から3週目の強度をいう。
- ニ コンクリート品質が常用の場合のスランプは18cm以下とする。

【廣告物の安全に関する力学の基礎】

45 風圧力は下記の式で求められる。

$$\text{風圧力} = \text{速度圧} \times \text{風力係数} \quad (22\text{年度 真偽})$$

46 廣告物に対する風圧力及び地震力は、屋上廣告物、壁面廣告物、自立廣告物等、廣告物の種類や設置場所に関わらず、常に一定で

ある。 (21年度 真偽)

47 廣告物に作用する力のうち、風圧力は廣告物の重量に、地震力は廣告物の形態や表面積に応じて大きくなる。 (20年度 真偽)

48 建築物外壁に取り付けた廣告物に作用する地震力は、廣告板とその支持構造物の重量の合計よりも大きい。 (18年度 真偽)

49 次のうち、地震力に最も影響を与えるものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 広告物の高さ
- ロ 広告物の底辺
- ハ 広告物の体積
- ニ 広告物の重量

50 地盤の許容応力度及び基礎ぐいの許容支持力の高い順序として、正しいものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 1. 岩盤 2. 密実な礫層 3. ローム層 4. 堅い粘土質
- ロ 1. 密実な礫層 2. 堅い粘土質 3. 岩盤 4. ローム層
- ハ 1. 岩盤 2. 密実な礫層 3. 堅い粘土質 4. ローム層
- ニ 1. 密実な礫層 2. 岩盤 3. ローム層 4. 堅い粘土質

51 文中の()内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

広告物が風を受けるとき、風下側基礎には()に圧縮力が発生し、風上側基礎には浮上力が発生する。 (21年度 択一)

- イ 水平方向
- ロ 風上方向
- ハ 風下方向
- ニ 鉛直方向

52 大型広告物に関する設計上の力に関する記述として、適切でないものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 外力には、風力と地震力などがある。
- ロ 広告物自身の重量は、固定荷重という。
- ハ 広告物は、積雪荷重をもとに設計する。
- ニ 壁面直付の平形広告板は、風圧力の影響が少ない。

53 構造計算上、構造物が受ける外力として、誤っているものはどれか。 (19年度 択一)

- イ 腐食
- ロ 雪
- ハ 地震
- ニ 重力や風

54 表面積の大きな広告物の取付けに関する記述として、適切なものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 風圧力よりも積雪荷重の影響が大きい。
- ロ 風圧荷重には耐えるが、地震力には非常に弱い。
- ハ 風圧力の影響をより重視しなければならない。
- ニ 風圧力よりも自重を考慮しなければならない。

55 文中の()内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

物に作用する「力」には、モーメント()があり、モーメントとは「力の効率」ともいわれるものであり、もう一方は「方向性をもっている力」である。 (17年度 択一)

- イ スカラー量
- ロ ベクトル
- ハ 分力
- ニ 偶力

【材 料】

- 56 真鍮は、銅と亜鉛の合金である。 (22年度 真偽)
- 57 ウッドシーラーは、木部塗装の場合の塗料の吸い込み止めに用いる。 (22年度 真偽)
- 58 同一条件において、合成樹脂調合ペイントは、合成樹脂エマルションペイントより乾燥硬化が遅い。 (21年度 真偽)
- 59 屋外用金属造型文字の仕上げ材として、合成樹脂ペイントは、粘着シートより耐久性がよい。 (21年度 真偽)
- 60 針金の太さは、番手の数字が大きくなるほど太くなる。 (20年度 真偽)
- 61 自然材料を利用したり文化継承の建物はエージングが美しいが、老舗などはエージングを生かした建物といえる。 (20年度 真偽)
- 62 強化プラスチックは、屋外広告板用の素材として適さない。 (19年度 真偽)
- 63 顔料には、油に溶ける性質はない。 (19年度 真偽)
- 64 LEDは、高輝度であるが反射サインには適していない。 (18年度 真偽)
- 65 広告面の素材として多用されている樹脂低発泡材を芯にサンドイッチしたスチール複合板は、マグネット利用可能なホワイトボードとしても使用することができる。 (18年度 真偽)
- 66 塗装の塗替えが困難な箇所や海岸近くの場所に設置する広告物の鋼材には、溶融亜鉛鍍金(ドブヅケメッキ)が効果的である。 (17年度 真偽)
- 67 LEDは、数ボルトの低電圧光3原色が高輝度でバランス良く発光できるようになったため、映像、標識など様々な分野に用途が広がり、ネオンサインのあり方にも影響を与えていている。 (17年度 真偽)
- 68 FRP(強化プラスチック)は、屋外広告板用の素材としては適していない。 (17年度 真偽)
- 69 普通コンクリートの気乾単位容積質量として、最も適切なものはどれか。 (22年度 択一)
- イ 1.3 t/m³
ロ 1.8 t/m³
ハ 2.3 t/m³
ニ 2.8 t/m³
- 70 材料表示で「アルミ板 t=2.0」とある場合の意味として、正しいものはどれか。 (22年度 択一)
- イ アルミ板の重さが2.0kg
ロ アルミ板の重さが2.0トン
ハ アルミ板の厚みが2.0mm
ニ アルミ板の厚みが2.0cm

71 鋼材の性質に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 原料の鉄に炭素やその他の金属を加えたものである。
- ロ 比重が大きいため、運搬が容易ではない。
- ハ 熱伝導率が低く、高温でも強度を保つ。
- ニ 酸化しやすく、錆を防ぐ対策が必要である。

72 塗料材料に関する記述として、正しいものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 油性のパテを調色する場合には、調合ペイントを使用して調色するとよい。
- ロ 調合ペイントは、乾燥剤の量を多く入れるほど素早く乾燥する。
- ハ 合成樹脂調合ペイントは、乾燥するとぬれ色より薄くなる。
- ニ 調合ペイントを薄めるためには、ラッカーシンナを使用するとよい。

73 LED の正式名称として、正しいものはどれか。 (21年度 択一)

- イ Light Energy Diode
- ロ Light Electronic Diode
- ハ Light Emitting Diode
- ニ Light Emanation Diode

74 鉄板に直に塗装し、長期間屋外に掲示する広告板を製作する場合に使用する塗料で、適切でないものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 合成樹脂塗料
- ロ ラッカー塗料
- ハ 酢酸ビニルエマルジョンペイント
- ニ 油性塗料

75 スクリーンプロセス印刷のスクリーンのメッシュとして、使用されないものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 60メッシュ
- ロ 100メッシュ
- ハ 300メッシュ
- ニ 600メッシュ

76 文中の()内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

アクリル板は熱による膨張が大きく、その上()による伸びという特性もあるので、枠の製作には、板の伸び寸法を計算に入れる必要がある。 (19年度 択一)

- イ 乾燥
- ロ 吸水
- ハ 自重
- ニ たわみ

77 樹脂低発泡材をサンドイッチしたアルミ複合板の芯材はどれか。 (18年度 択一)

- イ ポリスチレン
- ロ ポリエチレン
- ハ スチロール
- ニ ポリプロピレン

78 木製浮き出し文字の素材として、最も適しているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ かつら材
- ロ ひのき材
- ハ ラワン材
- ニ 赤松材

79 日本工業規格 (JIS) に規定する形鋼の分類として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ V形鋼
- ロ H形鋼
- ハ I形鋼
- ニ T形鋼

80 コンクリートの耐久性を左右する要因でないものはどれか。 (17年度 択一)

- イ ひび割れ
- ロ 凍結
- ハ 中性化
- ニ ブリージング

81 非鉄金属の各種素材に関する記述として、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)

- イ アルミニウムー比重2.69と小さく、加工が容易で軽い。
- ロ 銅ー炭酸ガスにより、緑青ができる、耐食性が良くなる。
- ハ 真鍮ー銅とすずの合金、銅より硬く、耐食性も鉄より優れる。
- ニ 亜鉛ー表面に鉛基性炭酸塩の皮膜を生じると、内部の酸化を防ぐ

82 屋外広告にも使用が多くなったLEDの発光波長として、誤っているものはどれか。

色 波 長 (nm) (17年度 択一)

- | | |
|-----|-----|
| イ 青 | 470 |
| ロ 赤 | 660 |
| ハ 黄 | 588 |
| ニ 緑 | 750 |

83 紙の規格に関する記述として、正しいものはどれか。 (17年度 択一)

- イ B1判の面積は、A1判の1.5倍である。
- ロ B1判の長辺は、A1判の長辺の1.5倍である。
- ハ B1判の1辺と、A1判の1辺との関係は、黄金分割比である。
- ニ A判とB判の面積や長さは、無関係である。

【機械器工具】

84 合金製ブラインドリベットは、アルミニウム製ブラインドリベットより強度が高い。 (22年度 真偽)

85 太陽は自然照明であるが、火・白熱電球、蛍光灯、水銀灯は、すべて人工照明である。 (20年度 真偽)

86 エアスピレーガンは、空気圧を高くして空気量を多くすると霧は粗くなる。 (19年度 真偽)

87 アルミニウム製ブラインドリベットは、合金製ブラインドリベットより強度が高い。 (17年度 真偽)

【コミュニケーションとデザイン】

- 88 「A I D M A (アイドマ) の法則」によれば、消費者がある商品を知って購入に至るまでに 7 つの段階があるとされている。 (22 年度 真偽)
- 89 企業の新しい理念構築に始めるイメージやコミュニケーション・システムを意図的・計画的に作り出す経営戦略を "C I " (コーポレート・アイデンティティ) という。 (21 年度 真偽)
- 90 ダグマーの広告効果の説によれば、我々がある行動を取るとき、未知名→知名→理解→確信を経て行動に至る。 (20 年度 真偽)
- 91 「A I D M A (アイドマ) の法則」によれば、広告効果の階層モデルは、注目→興味→記憶→欲求を経て行動にいたる。 (19 年度 真偽)
- 92 「AIDMA (アイドマ) の法則」の最初の A, I, D が表す意味の組合せとして、正しいものはどれか。

A I D (20 年度 択一)

- | | | | |
|---|----------------|---------------|---------------|
| イ | Attention (注目) | Image (イメージ) | Design (デザイン) |
| ロ | Attention (注目) | Interest (興味) | Desire (欲求) |
| ハ | Action (行動) | Image (イメージ) | Design (デザイン) |
| ニ | Action (行動) | Interest (興味) | Desire (欲求) |

- 93 広告物のコミュニケーションの成立に関する記述として、誤っているものはどれか。 (17 年度 択一)

- イ 知覚対象はメッセージを持っている。
ロ メッセージはイメージを触発する。
ハ イメージを了解することによって概念が生まれる。
ニ コミュニケーションの目的は、概念の否定である。

- 94 調和についての解説文の()内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

調和とは「うまくつり合い、(a)がととのっていること。(b)又は衝突なく互いに程よく(c)すること」

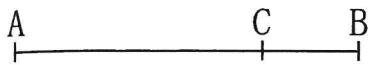
a b c (17 年度 択一)

- | | | | |
|---|----|----|----|
| イ | 部分 | 対立 | 調和 |
| ロ | 全体 | 否定 | 共存 |
| ハ | 部分 | 反目 | 構成 |
| ニ | 全体 | 矛盾 | 和合 |

【デザインの基礎】

- 95 黄金分割と呼ばれる比率は、1:1.2 である。 (22 年度 真偽)
- 96 フォトモンタージュには、2 枚以上の印画紙や写真の貼りつけ、二重焼や多重露出などの技法がある。 (22 年度 真偽)
- 97 縦と横の比が 1:2 の四辺形の長辺を 2 等分しても、面積が 2 分の 1 になった四辺形の縦と横の比は変わらない。これを黄金比という。 (20 年度 真偽)
- 98 一般に、ローマ字書体の斜体は、イタリックと呼ばれている。 (20 年度 真偽)
- 99 黄金分割と呼ばれる比率は、1:1.618 である。 (19 年度 真偽)
- 100 写植文字で同級数であれば、ローマ字のベースラインと漢字基準枠の下線は揃う。 (19 年度 真偽)
- 101 レタリングにおけるスペーシングとは、語句と語句との間の調整をいう。 (19 年度 真偽)

102 黄金分割では、線分AB上の点Cを求めるとき、 $AC : BC = AB : AC$ となるようとする。
(18年度 真偽)



103 レタリングにおけるスペーシングとは、行間を調整することをいう。 (18年度 真偽)

104 図の構成において、点は位置を示し、線は方向を示し、面は大きさを示す。 (17年度 真偽)

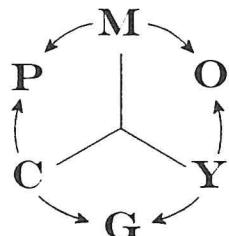
105 文中の()内に当てはまる語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

シンメトリーとは、左右の(a)が全く(b)であったり、同じ(c)が放射状にレイアウトされたりしている場合

	a	b	c
イ	対称	定形	対称
ロ	形態	均衡	対称
ハ	対称	均等	形態
ニ	形態	対称	形態

106 文中の()内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

下図の色相環で、M-Y-Cは(a)の三原色である。O-G-Pはそれぞれ(b)色の混合で得られ(c)色を混合すると理論的には黒になる。これを(d)法混色という。



(a) (b) (c) (d)

(21年度 択一)

イ	光	2	3	加
ロ	色	2	3	加
ハ	光	3	全	減
ニ	色	2	3	減

107 硬めの紙に絵の具を塗り、その他の材料を密着させた後に離したとき、偶成的な形が生じるが、この手法は、次のどれか。 (21年度 択一)

- イ コラージュ
- ロ フロッタージュ
- ハ デカルコマニー
- ニ オブジエ

108 文中の()内に当てはまる記述として、適切なものはどれか。

構成において、2つ以上の要素または部分の相互関係が、分離したり排斥しあわないので、統一された全体として感覚的効果を発揮しているときのことを、()という。 (19年度 択一)

- イ 対比している
- ロ シンメトリーである
- ハ ダイナミックである
- ニ 調和している

109 デザインに関する記述中のイ～ニの()のうち、誤っているものはどれか。

デザイン構成における調和とは、(イ 2つ以上)の要素又は部分の(口 相互関係)が分離や(ハ 結合)し合わないで、統一された全体としての(ニ 感覚的効果)を発揮しているときに、調和しているという。(18年度 択一)

【広告デザイン】

110 C Iとは、コーポレート・イメージの略号である。 (22年度 真偽)

111 レタリングにおけるスペーシングとは、行間を調整することをいう。 (21年度 真偽)

112 ローマ字書体のラインシステムの中で、小文字の高さを決めるため特に重要なラインをミンラインという。 (21年度 真偽)

113 ピクトグラムは、様々な事象を視覚化した図記号のことである。 (20年度 真偽)

114 企業の新しい理念構築に始めるイメージやコミュニケーション・システムを意図的・計画的に作り出す経営戦略を”C I”(コーポレート・アイデンティティ)という。 (18年度 真偽)

115 文中の()内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

屋外広告物において、広告面は(1)であり、文字やシンボルマークは(2)に当たる。しかし、都市環境の中では広告面が(3)となり、都市空間は(4)となる。

1	2	3	4	(22年度 択一)
イ 地	図	地	図	
ロ 地	図	図	地	
ハ 図	地	図	地	
ニ 図	地	地	図	

116 ピクトグラムに関する記述として、正しいものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 対象の形や概念を抽象化した図記号である。
- ロ 公共空間での案内・誘導・指示など、その機能の使用範囲は限定的である。
- ハ 異言語、異文化のコミュニケーション・ツールとしては機能しにくい。
- ニ 「アイコン」は、ピクトグラムの概念からは外れる。

117 サイン文字の視認性と可読性に関する記述のうち、正しいものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 視認性も可読性も、都市空間ではほとんど同じ意味に用いられている。
- ロ 照明の輝度が高いほど、視認性も可読性も高くなる。
- ハ 夜間・内照式サインの場合、黒ベースに白抜きの特太ゴシック体は、視認性・可読性ともに高い。
- ニ 自動車から見る場合、スピードを上げるほど視認性も可読性も低くなる。

118 文中の()内に当てはまる語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

サインにはシンボルとシグナルの機能がある。あるネオンサインを見て自分の訪問先の目印とする場合、そのサインは(a)であり、また古い街並みの中の伝統サインに心安らぐ時、その(b)は、(c)として機能している。

a	b	c	(21年度 択一)
イ シグナル	看板	シンボル	
ロ シグナル	建築物	シンボル	
ハ シンボル	看板	シグナル	
ニ シンボル	建築物	シグナル	

119 文中の()内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

2本のネオン管が分かれて見える限界は、その間隔の1000～1500倍と言われている。ネオン管文字の「田川」が1000m離れて読めるためには、文字高は最低()m以上必要である。(21年度 択一)

- イ 1
- ロ 2
- ハ 4
- ニ 8

120 サンセリフ書体「ユニバース」はどれか。(20年度 択一)



121 書体デザインとそれが誕生したときの時代思想との組合せとして、誤っているものはどれか。

(18年度 択一)

- イ モダンローマン体－情報化時代(現代)
- ロ サンセリフ体－機能主義のデザイン思想
- ハ ゴシック体(ドイツ文字)－中世キリスト教文明
- ニ オールドローマン体－古代ギリシャ、ローマ文明

122 サイン文字の可読性に関する記述として、誤っているものはどれか。(18年度 択一)

- イ 視認性の高い文字は必ずしも可読性が高いとは限らない。
- ロ 照明の輝度を上げると文字の可読性は落ちる場合がある。
- ハ 自動車から見る場合、スピードを上げるほど可読性は高まる。
- ニ 夜間、内照式サインの場合、黒地に白抜きの特大ゴシック体は、可読性が低い。

123 ローマ字書体が活字として製作された時代の順序として、正しいものはどれか。(18年度 択一)

- イ オールドローマン→モダンローマン→ゴシック→サンセリフ
- ロ ゴシック→オールドローマン→モダンローマン→サンセリフ
- ハ ゴシック→オールドローマン→サンセリフ→モダンローマン
- ニ オールドローマン→ゴシック→サンセリフ→モダンローマン

【色彩】

124 マンセル記号 5Y 6/5 は、濃い緑の系統の色を表す。(22年度 真偽)

125 マンセルカラーシステムにおいて、各色相の純色は、無彩色軸から等距離になっている。(22年度 真偽)

126 渋さを感じる、落ち着いて明るいなどの印象は、明度、彩度に関係なく、色相の使い方によつてもたらされる。(21年度 真偽)

127 ビビットな色調は、一般的に「はっきりとした」、「鮮やかな」、「強い」などのイメージを持っている。(21年度 真偽)

128 演色とは、照明によって物体色の見えが変わって感じる効果のことである。(20年度 真偽)

129 マンセル記号 5B6/5 は、濃い緑の系統の色を表す。(20年度 真偽)

130 青みを帯びた短波長域の光は、赤みを帯びた長波長域の光よりも色温度が高い。 (19年度 真偽)

131 補色関係にある2つの色を混合すると灰色に近くなる。 (18年度 真偽)

132 マンセル色彩表示において、赤の彩度は、10Rより5Rのほうが低い。 (17年度 真偽)

133 マンセル記号による色の表記「5R 4/8」の説明文の()内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

5Rは(1)、4は(2)、8は(3)を表している。

1 2 3

(22年度 択一)

- | | | | |
|---|------|-----|-----|
| イ | 紫みの赤 | 中明度 | 高彩度 |
| ロ | 赤 | 中明度 | 中彩度 |
| ハ | 紫みの赤 | 高明度 | 中彩度 |
| ニ | 赤 | 高明度 | 高彩度 |

134 混色に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 混色には、加法混色、減法混色及び中間混色と呼ばれるものがある。
- ロ 絵具や染料などの物体色は、混ぜ合わせると色が暗くなる。
- ハ 中間混色は、板面を色区分したものを回転させて確認することができる。
- ニ 織物やカラー印刷の網点などの混色は、加法混色に属する。

135 色の対比に関する記述として、誤っているものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 赤色の背景の中の黄赤は、黄みを帯びて見える。
- ロ 黄色の背景の中の黄赤は、赤みを帯びて見える。
- ハ 黄色の背景の中の明るい灰色は、紫がかった見える。
- ニ 紫色の背景の中の明るい灰色は、紫がかった見える。

136 彩度に無関係なものはどれか。 (20年度 択一)

- イ ビビッド (Vivid)
- ロ トーン (Tone)
- ハ ディープ (Deep)
- ニ ダーク (Dark)

137 パソコン画面をプリントアウトして取り出す場合の原色の組合せとして、正しいものはどれか。
(19年度 択一)

- イ MYC
- ロ RGB
- ハ MYCBk
- ニ RGBW

138 文中の()内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

色彩の「トーン」は彩度と明度の組合せで決まる。原色といわれる色は、()に当たる。 (19年度 択一)

- イ ライトトーン
- ロ ダルトーン
- ハ ビビッドトーン
- ニ ディープトーン

139 マンセル記号による色の表記「5R 4/10」の説明文の()内に当てはまる語句の組合せとして正しいものはどれか。

5Rは(a)、4は(b)、10は(c)を表している。

a b c

(17年度 択一)

イ	朱赤	中明度	中彩度
ロ	金赤	中明度	高彩度
ハ	濃い赤	低明度	低彩度
ニ	紫系赤	高明度	高彩度

140 色彩に関する記述として、正しいものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 赤色と紫色は、補色関係にある。
- ロ 光の3原色は、赤、黄、青である。
- ハ 進出・後退の視覚現象は、色彩の持つ特性ではない。
- ニ 色相、明度、彩度を色の3属性という。

【美観風致】

141 都市の景観は、建築物、道路、広告物などの人工的要素によって創り出される。 (22年度 真偽)

142 ランドマークとしての人工的な建造物は、地域における景観の特性を把握する上では特に考慮する必要はない。 (21年度 真偽)

143 地域における景観の特性を把握するためには、自然、生活文化、空間などの要素を考慮することが重要である。 (20年度 真偽)

144 屋外広告物法や都市計画法にいう風致とは自然美を、景観とは人工美を指している。 (20年度 真偽)

145 自然が豊かな環境に屋外広告物を設置する場合、その色彩を植物の緑よりも彩度を下げることによって、一般に環境と広告物の調和が取れやすくなる。 (19年度 真偽)

146 屋外広告物は景観との関係を外して考えることができないが、この観点から見て、最も適切なデザインのあり方はどれか。 (22年度 択一)

- イ 国立公園など優れた自然環境の中では、高彩度の色彩を使ったデザインにする。
- ロ 町づくりに共感し、地域の特性に配慮したデザインにする。
- ハ 都市景観には、自然環境は含まれないので、デザインでは建造物との関係を特に重視する。
- ニ 同一デザインの小さめの広告物を連続的に配置することによって、広告効果を上げる。

147 地域の景観形成に配慮する屋外広告物の製作態度として、適切でないものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 製作した屋外広告物のメンテナンスに注意を払うこと。
- ロ 地域のアピールのため、独善的な広告物を創ること。
- ハ 交通標識や安全色彩などの公共サインに注意し、その機能を阻害しないようにすること。
- ニ 地域の広告協定などに従い、そのアイデンティティを傷つけないこと。

148 文中の()内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

一般に屋外広告物や公共サイン等は、案内・誘導・支持・禁止などの機能があるが、これらとともに、街の個性を創り、その(A)に深く関わるものとして、(B)が重視される。

A

B

(21年度 択一)

- | | |
|------------|----------|
| イ 販売促進 | メッセージ |
| ロ アイデンティティ | 販売促進 |
| ハ 都市化 | ライトアップ |
| ニ 景観形成 | アイデンティティ |

149 良好的な都市景観を創出する手段である「美観風致の維持」の「美観の維持」に関する記述のイ～ニの()のうち、適切でないものはどれか。

(イ 都市の特性)に応じ、(ロ 建築物の配置、構造、意匠)などが(ハ 市街地における道路、公園等の公共施設)などと調和と均齊のとれたものとするなど、主として(ニ 都市における自然環境)を維持しようすること。

(20年度 択一)

150 都市景観に関する記述中のイ～ニの()で示す部分のうち、誤っているものはどれか。

都市の景観は、建築物・道路・広告物などの(イ 人工的要素)と、これらを取りまく山・川・海などの(ロ 自然)及び都市が立地する(ハ 気候帯や地理上の位置)などによって作り出される、(ニ 五感)に訴求する感覚の総体である。 (19年度 択一)

151 風致の維持は優れた都市景観を創出する上で重要であるが、「風致」の内容として、適切でないものはどれか。 (18年度 択一)

- | |
|----------------|
| イ 自然が豊かな丘陵 |
| ロ 郷土的意義のある田園 |
| ハ 緑が豊かな低密度住宅地 |
| ニ 歴史的建造物としての社寺 |

152 良好的な都市景観を創出する手段である「美観風致の維持」の「美観の維持」に関する記述のイ～ニの()のうち、適切でないものはどれか。

(イ 都市の特性)に応じ、(ロ 建築物の配置、構造、意匠)などが(ハ 市街地における道路、公園等の公共施設)などと調和と均齊のとれたものとするなど、主として(ニ 都市における自然環境)を維持しようすること。

(17年度 択一)

【関係法規】

153 屋外広告物法関係法令によれば、条例によって、広告物及びこれを掲出する物件の意匠、色彩については規制できないこととなっている。 (22年度 真偽)

154 屋外広告物法関係法令によれば、適用除外広告物である限り、掲出に際して都道府県知事の許可は必要ない。 (22年度 真偽)

155 都道府県知事は、簡易除却の要件を満たしている広告旗については、たとえ設置者が明らかな場合でも、設置者にあらかじめ除却等の措置を命じることなく、自ら除却することができる。 (21年度 真偽)

156 高さが4mを超える広告物を設置する場合、建築確認は要するが、構造計算書の提出は義務付けられていない。 (20年度 真偽)

157 コンサートのための広告は、一時的であれば電柱に表示することができる。 (20年度 真偽)

158 自動車の車体に表示される広告は、屋外広告物に該当しない。 (19年度 真偽)

159 野球場内、遊園地内、駅のホームなどに表示された広告物は、屋外広告物に該当する。 (18年度 真偽)

160 屋外広告物に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 常時又は一定の期間、継続して表示されるもの
- ロ 屋外で表示されるもの
- ハ 駅の改札口の内側に表示されるもの
- ニ 立看板、はり紙、広告塔など

161 屋外広告物法による「屋外広告物」の定義は、「常時又は一定の期間継続して屋外で公衆に表示されるものであって、看板、立看板、はり紙及びはり札並びに広告塔、広告板、建物その他の工作物等に掲出され又は表示されたもの」であるが、その解釈のうち、誤っているものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 「常時又は一定の期間継続して」とは、1日24時間以上、それが継続して掲出されれば該当する。
- ロ 「屋外」とは、物体が設置されている場所が屋外かどうかで、屋外から見えるという意味ではない。
- ハ 「公衆」とは、不特定多数人をいう。例えば、野球場などの入場者など特定の人は対象外。
- ニ 「その他の工作物」とは、障壁、塀等、樹木や岩石等も含まれる。

162 条例に明らかに違反して表示され、管理されずに放置されていることが明らかな場合、都道府県知事が公告をせずに除却できる屋外広告物に関する記述として、適切なものはどれか。 (21年度 択一)

- イ プラスチック板をはり金など簡易な方法でフェンスに取付けた広告は、はり札に類した広告物として除却できる。
- ロ 広告旗を支える台座は、旗とは見なされないため除却できない。
- ハ 工作物に立て掛けてあるだけの立看板は、取り付けられていないため除却できない。
- ニ はり紙は、除却の対象外である。

163 屋外広告物関係法令等による景観計画に関する記述として、誤っているものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 景観法に基づき定められる。
- ロ 景観に関する総合的な計画である。
- ハ 屋外広告物の表示や掲出に関し、制限を設けることができる。
- ニ 屋外広告物条例に適合した広告物であっても、景観計画に適合しなければ、掲出が制限される。

164 都道府県が屋外広告業を営む際に知事への登録を義務付けるとき、条例で定めなければならない登録の有効期限は、どれか。 (20年度 択一)

- イ 5年
- ロ 4年
- ハ 3年
- ニ 2年

165 屋外広告物ガイドライン(案)の内容に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 規制を受ける側の便宜が考慮されている。
- ロ 各地で定められた条例間で、屋外広告物に著しい差が発生しないように調整する役割も持っている。
- ハ 地方公共団体が屋外広告物条例を制定・改正する際に、法律で遵守が義務付けられている基準である。
- ニ 前身は「屋外広告物標準条例(案)」である。

166 屋外広告物法第3条により広告物の掲出が禁止できる地域又は場所として、適切でないものはどれか。 (19年度 択一)

- イ 都市計画法の規定により定められた景観地区
- ロ 重要文化財に指定された建造物を中心とした半径500m以内の範囲
- ハ 保安林のある地域
- ニ 知事が指定する道路の区間又は道路に接続する地域

167 屋外広告物関係法令等による景観計画に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 景観法に基づき定められる。
- ロ 景観に関する総合的な計画である。
- ハ 屋外広告物の表示や掲出に関し、制限を設けることができる。
- ニ 屋外広告物条例に適合した広告物であっても、景観計画に適合しなければ、掲出が制限される。

168 平成16年に改正された屋外広告物法の目的に関する記述条文として、最も適切なものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 美観風致の維持と公衆に対する危害の防止を目的としている。
- ロ 良好的な景観形成と、風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的としている。
- ハ 良好的な景観形成と、美観の維持、公衆に対する危害の防止を目的としている。
- ニ 良好的な景観形成と、美観風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的としている。

【安全衛生】

169 労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は政令で定める有害な業務を行う作業場については、必要な作業環境測定を行い、その結果を記録しておかなければならない。 (22年度 真偽)

170 労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、労働者につり上げ荷重が1トン未満の移動式クレーンの業務に就かせる場合は、安全のための特別教育を受けさせなければならない。 (22年度 真偽)

171 ガス溶接における作業主任者は、各事業所が独自に実施する講習の修了者のうちから選任すればよい。 (21年度 真偽)

172 塗装に使用した有機溶剤や油性塗料の付着したウエスを、1箇所に積み上げておくと、自然発火することがある。 (21年度 真偽)

173 インクジェットプリンタを使用する作業では、有機溶剤作業主任者の選任や排気装置の設置を含む措置が必要となる場合がある。 (20年度 真偽)

174 ガス溶接作業主任者は、各事業所が独自に実施する講習会修了者のうちから選任することができる。 (20年度 真偽)

175 労働安全衛生関係法令によれば、安全管理者は、厚生労働大臣が定める研修を受けた者の中から選任しなければならない。 (19年度 真偽)

176 元請・下請けの労働者が同一の事業場で作業する場合、各企業の主体が異なるので、労働災害を防止するための相互の連絡義務はない。 (19年度 真偽)

177 労働安全衛生関係法令によれば、屋内作業場において有機溶剤を取扱う業務については、作業場の数に関係なく一社一人の有機溶剤作業主任者を置くことが義務付けられている。 (17年度 真偽)

178 労働安全衛生関係法令によれば、作業床の高さが10m以上の高所作業者の運転の業務は、技能講習を修了したものでなければ、行ってはならない。 (17年度 真偽)

179 労働安全衛生法関係法令において規定されている、安全管理者を選任しなければならない建設業の事業場の常用労働者数として、正しいものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 常時10人以上
- ロ 常時50人以上
- ハ 常時100人以上
- ニ 常時500人以上

180 文中の()内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

労働安全衛生関係法令によれば、作業床の高さが()以上の高所作業車の運転は、技能講習を修了したものでなければ、その業務に就くことができない。 (22年度 択一)

- イ 2m
- ロ 3m
- ハ 5m
- ニ 10m

181 作業場内の環境を快適に保つことは、従業員の安全や健康、効率の良い作業を継続する上で重要である。屋内作業場の環境と環境を快適に保つために必要な措置の組合せとして、適切でないものはどれか。

環 境 措 置 (21年度 択一)

- イ 空気環境 - 粉塵や臭気について、不快と感ずることのないようにする。
- ロ 視環境 - 採光、色彩環境、光源の性質にも考慮する。
- ハ 温熱環境 - 作業の内容、季節にかかわらず常に一定の温度に保つ。
- ニ 音環境 - 作業場内の騒音源となる機械設備を遮音材で覆う。

182 有機溶剤を取り扱う作業場で、作業者がガスを吸入して卒倒した場合、現場関係者が行う応急処置として、誤っているものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 呼吸停止の場合、手を触れず、医者が来るまでそのままの状態で置く。
- ロ 衣服をゆるめる。
- ハ 意識喪失の場合、口中の異物を取り除く。
- ニ 通風の良いところに運び、頭を低くして寝かせる。

183 労働安全衛生関係法令に関する記述のうち、健康の保持増進のため、事業者が必ず行わなければならないものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 労働者に対して健康相談のための医師を常駐させること。
- ロ 労働者に対して医師の健康診断を行うこと。
- ハ 一定の伝染性の疾病にかかった労働者は、直ちに解雇をすること。
- ニ 有害な業務を行う屋内作業場には立入禁止の表示をすること。

184 文中の()に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

クレーン等安全規則は、クレーン、移動式クレーン、デリック、エレベーター、建設用リフト及び簡易リフトを使用する作業において生ずる労働災害を防止するため、()に基づいて定められた省令である。 (20年度 択一)

- イ 労働安全衛生法
- ロ 労働安全衛生法施行令
- ハ 労働安全衛生規則
- ニ 安全衛生特別教育規程

1級問題 ペイント

【専門仕上げ法】

- 185 筋かいはけは、丸はけの一種である。 (22年度 真偽)
- 186 メラミン樹脂塗装面の焼付け乾燥には、赤外線が使用される。 (22年度 真偽)
- 187 調色された塗料の原色を知るためには、白色を混合して調べるとよい。 (22年度 真偽)
- 188 平筆の太さは、号数が小さくなるほど細くなる。 (20年度 真偽)
- 189 油性塗料で文字を書く場合、カラー鉄板に書くよりも、ガラス面に書くほうが定着性がよい。 (20年度 真偽)
- 190 隠ぺい力の弱い色の塗料は、少量の白を混入すると隠ぺい力を増すことができる。 (20年度 真偽)
- 191 合成樹脂エマルジョンペイントの調色に用いる容器としては、鉄製のものが適している。 (19年度 真偽)
- 192 アルミニウム面や亜鉛めっき面は、一般に、鉄面よりも塗料の付着性がよい。 (19年度 真偽)
- 193 塗料の色合わせを行う場合は、配合量の多い色から順に配合するとよい。 (19年度 真偽)
- 194 ローラブラシは、塗料の含みが少ないと塗面ですべて回転しないことがある。 (18年度 真偽)
- 195 ゴシック筆で文字を書く場合、書きやすくするために、穂先を切りそろえるとよい。 (18年度 真偽)
- 196 アルミニウムペイントに用いられるアルミニウム粉は、浮くように作られているリーフィング形である。 (18年度 真偽)
- 197 木材は、木表に向かって反る性質があるので、切抜き文字の場合は、木表が裏側になるように加工する。 (18年度 真偽)
- 198 ラワン材などの目の深い木材を使用した広告面をラッカーエナメルで仕上げる場合は、下地付けはしないほうがよい。 (18年度 真偽)
- 199 次の動物の毛はいずれも筆や刷毛の穂の原毛として一般に実用されている。
(1)馬 (2)羊 (3)いたち (4)狸 (5)りす (17年度 真偽)
- 200 ビームコンパスは、大きな円を描く場合に使用する。 (17年度 真偽)
- 201 プラスチック板面のひっかき傷は、高速回転バフ研磨することによって元の状態に修復することができる。 (17年度 真偽)
- 202 亜鉛引鉄板に油性ペイントを塗る場合は、下地処理をする必要がある。 (17年度 真偽)
- 203 剥離作業に使用される工具として、適切でないものはどれか。 (22年度 択一)
イ ワイヤーブラシ
ロ スクレーパー¹
ハ トーチランプ
ニ バール
- 204 ペイント仕上げに関する記述として、正しいものはどれか。 (22年度 択一)
イ 強風の所での塗装は、乾燥が速いため作業がしやすい。
ロ 湿気の多い所は、ペイント仕上げに適している。
ハ 塗装には、うすめ液、溶剤を使用しないほうが、塗装面が美しく仕上がる。
ニ エマルジョン塗料は、室内における塗装でも引火のおそれはない。

205 広告板の製作・施工に関する記述として正しいものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 広告板の鉄骨枠の上に鉄板を張る場合は、内部からさびや汚れが広告面に現われないように、下の方から上へ張りつけていく。
- ロ 広告面の塗装で塗り重ねるとき、下層の塗膜が十分硬化乾燥していないと、ちぢみやつやむらを生ずる。
- ハ 新しい平筆は、描きやすくするために筆の穂先を切り揃えなければならない。
- ニ 広告板の取付けで、建築中の壁面にアンカーボルトを内部から固定する作業をホールインアンカーという。

206 屋外の 10mm 角ぐらいの文字を使用した説明板において、耐候性及び耐久性に優れているものはどれか。 (20年度 択一)

- イ ステンレス板に腐食加工したもの。
- ロ アクリル板に粘着シート加工したもの。
- ハ アクリル板に彫刻加工したもの。
- ニ 焼付鉄板にスクリーン印刷したもの。

207 塗料と希釈剤の組合せで、誤っているものはどれか。 (20年度 択一)

- | | |
|-------------------|-------------|
| イ 油性ペイント | … ミネラルスピリット |
| ロ 合成樹脂エマルショニ・ペイント | … ポイル油 |
| ハ 合成樹脂ペイント | … テレビン油 |
| ニ オイルサフェサー | … 塗料シンナー |

208 亜鉛引き鉄板に塗装前の素地調整を行うには、エッティングプライマーを塗布するが、次の文中的イ～ニの()のうち、適切でないものはどれか。

エッティングプライマーは、(イ 1回塗り)とし、うすめ液は(ロ 専用シンナー)を使用し、(ハ うすめ率は25%以内)とし、塗布量は0.05～0.08kg/m²がよい。塗布は、(ニ 湿度80%以上)の場合は避け、塗布後3時間以上、12時間以内に次工程の塗装をする。 (20年度 択一)

209 筋かい刷毛の説明として、正しいものはどれか。 (19年度 択一)

- イ 刷毛先が、筋かいに分かれている刷毛
- ロ 刷毛先が、柄に対して傾斜している刷毛
- ハ 刷毛の所に筋かいを入れ、補強された刷毛
- ニ 丸刷毛を改良した刷毛

210 ふっ素樹脂塗料の特長として、最も顕著なものはどれか。 (19年度 択一)

- イ 耐水性
- ロ 耐溶剤性
- ハ 耐油性
- ニ 耐汚性

211 カリグラフィーに関する記述として、適切なものはどれか。 (19年度 択一)

- イ 活字や写植文字のことをいう。
- ロ デジタル処理した文字をいう。
- ハ レタリングなどの文字デザインのことをいう。
- ニ 筆文字などの肉筆で書かれた文字のことをいう。

212 エアスプレーガンのノズルに関する記述のイ～ニの()のうち、適切でないものはどれか。

エアスプレーガンのノズルは、塗料の(イ 種類)、(ロ 粘度)、(ハ 粒子)並びに(ニ 希釈剤)によって交換すべきである。 (18年度 択一)

213 刷毛に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 寸胴刷毛—腰が強く、主に馬毛が使われ、粘度の高いペイントや広い板面に塗装するのに適している。
- ロ 筋違刷毛—腰の強い豚毛が使われ、ペイントやニス塗りに適している。
- ハ 丸刷毛—毛の植込みが多く、羊毛、馬毛、豚毛などが使われ、ワニス塗りに適している。
- ニ 平刷毛—毛先が柔らかで、羊毛等が使われ、ラッカー、水性塗装に適している。

214 塗料に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 合成樹脂エマルションペイントは、揮発重合乾燥形の塗料である。
- ロ 合成樹脂エナメル塗料は、揮発酸化乾燥形の塗料である。
- ハ エポキシ樹脂塗料は、硬化剤によって固化する塗料である。
- ニ 塩化ビニル樹脂塗料は、揮発乾燥形の塗料である。

215 広告面として、耐久性の低いものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 鉄板に調合ペイント塗装したもの。
- ロ アルミ板に粘着シート貼りしたもの。
- ハ カラートタンにフタル酸樹脂エナメルしたもの。
- ニ ステンレス板に焼付塗装したもの。

216 エアスプレーガンの使用直後の手入れに関する記述として、適切でないものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 洗浄液をスプレーし、塗料通路を洗浄する。
- ロ 空気キャップの先端部をブラシで洗浄する。
- ハ 先端部、調整部を分解し、注油、組立てを行う。
- ニ 空気キャップをはずし、塗料ノズルをブラシで洗浄する。

217 ローラブラシの説明として、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)

- イ ローラブラシは塗料の含みがよく、回転がスムーズなものがよい。
- ロ ローラブラシは回転運動がよく、回転がスムーズなものがよい。
- ハ ローラブラシはラッカエナメルの含みがよく、回転が自由である。
- ニ ローラブラシの手入れ、保管方法は刷毛と同じである。

218 横長廣告板の刷毛塗装作業における標準的な塗装方法はどれか。 (17年度 択一)

- イ 向かって右上方から塗り始めて、左下方で終わるようにする。
- ロ 真中から塗り始めて、外側で終わるようにする。
- ハ 向かって左下方から塗り始めて、右上方で終わるようにする。
- ニ 特に決め手がなく、どこから塗り始めてよい。

219 合成樹脂エマルションペイントに関する記述として、適切なものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 酢酸ビニル樹脂系エマルションは、アクリル樹脂系エマルションより耐候性に優れている。
- ロ 合成樹脂エマルションペイントは酸化重合により乾燥する。
- ハ 合成樹脂エマルションペイントの希釀剤には、水以外のものを使用してはならない。
- ニ 合成樹脂エマルションペイントの乾燥を速やかにするには、少量のラッカーシンナーを入れるとよい。

220 ラッカーエナメルの刷毛塗装における希釀剤として、適切なものはどれか。 (17年度 択一)

- イ リターダシンナー
- ロ 塗料シンナー
- ハ テレピン油
- ニ アルコール溶剤

221 木製浮き出し文字の塗装仕上げで、常温乾燥しないものはどれか。 (17年度 択一)

- イ カシュー塗り仕上げ
- ロ エマルジョン塗料塗り仕上げ
- ハ セラックニス塗り仕上げ
- ニ 透明うるし塗り仕上げ

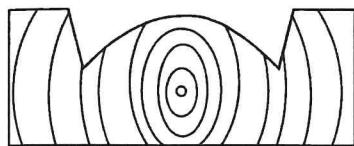
【専門以外の仕上げ法】

222 スクリーンプロセス印刷のための原稿には、左右反転された図形を描く。 (22年度 真偽)

223 真空成形加工による広告板には、成形前にスクリーンプロセス印刷を行う。 (22年度 真偽)

224 シルクスクリーンプロセスのインクは、被写体の材質によって異なるので注意しなければならない。 (20年度 真偽)

225 下図は、木彫看板の平彫りの断面図である。 (20年度 真偽)



226 スクリーンプロセス印刷をした磨耗しやすい製品には、ラミネート加工するとよい。 (19年度 真偽)

227 アクリルやガラス面に粘着シートを水貼りする場合、水がはじかれないように、中性洗剤を多めに入れるとよい。 (19年度 真偽)

228 レーザー光線は、プラスチック板の切り抜きには適さない。 (18年度 真偽)

229 スクリーンプロセス印刷の写真製版のスクリーンには、テトロンとナイロンが多く使用されている。 (18年度 真偽)

230 ガラス面に粘着シート貼りを行うときに生じた気泡は、時間が経つと自然に消える。 (17年度 真偽)

231 鉄板広告板にメラミン樹脂塗料を焼き付ける場合の加熱温度として、適切なものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 50℃
- ロ 120℃
- ハ 320℃
- ニ 450℃

232 粘着シートの接着強度が最も良い被着体は、次のどれか。 (22年度 択一)

- イ 塩化ビニル板
- ロ カラー鉄板
- ハ ガラス板
- ニ 亜鉛めっき鋼板

233 立体造型に関する記述中のイ～ニの()のうち、誤っているものはどれか。

イ (自己消火性) のロ (難燃発泡スチロール) で造形し、ハ (硬質ウレタン樹脂) で表面をコーティングした立体造形は、従来のF R P樹脂よりもニ (堅固) で、安価軽量である。 (20年度 択一)

234 かつら材の浮出し文字に反りを生じさせないための製作時 の方法として、正しいものはどれか。
(20年度 択一)

- イ かつら材の木表を表面にする。
- ロ かつら材の木理のよい方を表面にする。
- ハ かつら材の木裏を表面にする。
- ニ かつら材の乾燥が70%以上であれば、表裏どちらでもよい。

235 エッティングプライマーの使用目的として、適切でないものはどれか。 (19年度 択一)

- イ 吸込み止め
- ロ 耐水性の向上
- ハ 付着性の向上
- ニ 防錆力の付与

236 金属面下地塗装の手順として、適切なものはどれか。 (19年度 択一)

- イ プライマー → パテ → サーフェーサー → 上塗り
- ロ サーフェーサー → プライマー → パテ → 上塗り
- ハ サーフェーサー → パテ → プライマー → 上塗り
- ニ プライマー → サーフェーサー → パテ → 上塗り

237 金属素材に塗る下地剤に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ サーフェーサーは、パテ面及び上塗りの仕上がりを良くするためのものである。
- ロ シーラーは、下塗りの素地をより安定させるものである。
- ハ パテサーフェーサーは、パテとサーフェーサーの両方の性能をもつものである。
- ニ プライマーは、塗装の付着性を良くするものである。

1級共通

【広告物の種類及び構造】

- 1 ○
2 ○
3 ×
4 ○
5 × 一時的で、かつ、設置者の直接的な管理下にあるものは屋外広告物に該当しない。
6 ×
7 × シートポスター広告板は材料による分類。(社団法人全日本屋外広告業団体連合会発行「屋外広告ハンドブック 第2版」P76, 77)
8 ニ
9 ハ
10 ハ
11 ニ
12 イ 口、ニは、設置位置、ハは材料による分類(社団法人全日本屋外広告業団体連合会発行「屋外広告ハンドブック 第2版」P75)

【広告物の素地の製作方法】

- 13 ○ 作業性、安全性、設備面、経済性からも、現場より工場での溶接が適している。(株式会社ぎょうせい発行「屋外広告の知識第3次改訂版 設計・施工編」P179)
14 ×
15 × プラスチックや樹脂などの材料と、型の間の空気を型の下から吸い出し真空状態を作り出すことで、樹脂と型を密着させ成形する。
16 ○
17 ×
18 ×
19 ニ
20 口
21 ハ
22 イ
23 ニ

【広告物の製作図の作成方法】

- 24 ○
25 ○
26 ○
27 ○
28 口
29 口
30 ハ
31 イ
32 口
33 イ

【広告物の取り付け方法】

- 34 ×
35 ×
36 ×
37 ○
38 ニ
39 ハ
40 イ
41 ニ
42 口
43 イ
44 口

【広告物の安全に関する力学の基礎】

- 45 ○
46 ×
47 × 風圧力は広告物の表面積や形態、地震力は広告物の重量に応じて大きくなる。
48 × 建物に取り付けられた広告板に作用する地震力は、広告板とその支構造物の重量の合計と同じ。(株式会社ぎょうせい発行「屋外広告の知識 第3次改訂版 設計・施工編」P71)
49 ニ
50 ハ
51 ニ
52 ハ
53 イ

54 ハ

55 口 株式会社日本実業出版社発行「はじめての構造力学」P19, P25

【材 料】

56 ○

57 ○

58 ○

59 ×

60 ×

61 ○

62 ×

63 ○

64 ×

65 ○ 表面がスチール薄板なので可能。

66 ○

67 ○

68 ×

69 ハ

70 ハ

71 ハ

72 ハ

73 ハ

74 ハ

75 ニ

76 口

77 口

78 イ

79 イ

80 ニ ニは凝結中に水が浮かび上がる現象のこと。（学芸出版社発行「初めての建築材料」P68）

81 ハ 真鍮は銅と亜鉛の合金。（学芸出版社発行「初めての建築材料」P104）

82 ニ 色光は波長の長いものから赤 橙 黄 緑 青の順であることから回答可能。緑は555～565nm。（株式会社オーム社発行「光エレクトロニクス」P77）

83 イ

【機械器工具】

84 ○

85 ○

86 ×

87 ×

【コミュニケーションとデザイン】

88 ×

89 ○

90 ○

91 × 注目→興味→欲求→記憶→行動の順。

92 口

93 ニ

94 ニ

【デザインの基礎】

95 × 黄金比の近似値は1:1.618。

96 ○

97 ×

98 ○

99 ○

100 ×

101 × 語句と語句ではなく、文字と文字。

102 ○

103 ×

104 ○

105 ニ シンメトリーは、上下、左右対称、あるいは放射対称であるため均衡がとれ、安定して見える。

106 ニ

107 ハ

108 ニ

109 ハ ハは正しくは「排斥」

【広告デザイン】

110 × CIはコーポレート・アイデンティティ(自己証明)の略、企業行動は、ビヘービア・アイデンティティ(BI)。

111 ×

112 ○

113 ○

- 114 ○
- 115 □
- 116 イ
- 117 ニ
- 118 イ
- 119 □ 最低の1000倍と仮定すると、2本の間隔が分かれて見えるためには1m必要であるため、田の字を見分けるには2mの文字高が必要。
- 120 ハ
- 121 イ イは機械化時代（近世～近代）
- 122 ハ ハは視認性、可読性共に落ちる。
- 123 □

【色彩】

- 124 ×
- 125 ×
- 126 ×
- 127 ○
- 128 ○
- 129 ×
- 130 ○
- 131 ○
- 132 × 10Rの方が低い。
- 133 □
- 134 ニ
- 135 ニ ニは、黄色みがかった見える。
- 136 □
- 137 ハ
- 138 ハ
- 139 □
- 140 ニ

【美観風致】

- 141 ×
- 142 × ランドマークとは、ある地域の目印や象徴的な景観要素となるもので、地域における景観の特性を把握する上では考慮すべき要素とされている。
- 143 ○
- 144 ○
- 145 ○

- 146 □
- 147 □
- 148 ニ
- 149 ニ 美観の維持とは、都市の造形美、人工美を維持すること。
- 150 ニ
- 151 ニ ニは景観の内容を述べている。
- 152 ニ 美観の維持とは、都市の造形美、人工美を維持すること。

【関係法規】

- 153 ×
- 154 × 表示に際して知事の許可が必要となる適用除外物件がある。
- 155 ○
- 156 ×
- 157 ×
- 158 ×
- 159 ×
- 160 ハ
- 161 イ
- 162 イ
- 163 ニ 屋外広告物が二重規制されないよう、屋外広告物は屋外広告物条例によって規制されているが、屋外広告物と景観計画との整合性をはかる目的で屋外広告物法第6条が規定されている。（株式会社ぎょうせい「屋外広告の知識 第3次改訂版 法令編」P19）
- 164 イ
- 165 ハ
- 166 □
- 167 ニ 屋外広告物が二重規制されないよう、屋外広告物は屋外広告物条例によって規制されているが、屋外広告物と景観計画との整合性をはかる目的で屋外広告物法第6条が規定されている。（株式会社ぎょうせい「屋外広告の知識 第3次改訂版 法令編」P19）
- 168 □

【安全衛生】

- 169 ○

170 ○		199 ○	
171 ×		200 ○	
172 ○		201 ×	
173 ○ ソルベントインクに有機溶剤シクロヘキサンが使用されている場合、有機溶剤中毒予防規則に基づく措置が必要。(労働安全衛生法施行令別表、有機溶剤予防規則)		202 ○	
174 × 安全衛生技術センターの実施する試験に合格し、免許を受けた者の中から事業者により選任される。		203 ニ	
175 ○		204 ニ	
176 ×		205 ロ	
177 × 1社1人ではなく、作業場を行う現場ごとに1名の作業主任者を置く必要がある。(労働安全衛生法)		206 イ	
178 ○		207 ロ	
179 ロ		208 ハ	
180 ニ		209 ロ	
181 ハ 事業者が講すべき快適な職場環境の形成のための措置に関する指針(H 4.7.1 労働省告示第59号)		210 ニ	
182 イ		211 ニ	
183 ロ		212 ニ 希釀剤は粘度を調整するものであり、ノズル径との関係はない。	
184 イ		213 ロ 筋違刷毛は、腰が強く塗料の含みの良い馬毛などを使って作られている。ペイント用で隅や内部の塗装に適している。(朝倉店発行「技術シリーズ 塗装」)	
1級ペイント		214 イ	
【専門仕上げ法】		215 イ	
185 ×		216 ハ	
186 ○		217 ハ ローラブラシではラッカーを使用しない。	
187 ○		218 イ	
188 ○		219 ハ	
189 ×		220 イ	
190 ○		221 ニ うるしは十分な湿度がないと乾燥しない。これは主成分のウルシオールが酸化重合反応をして、塗装が硬化乾燥をするが、この時に湿気が反応の働きを助けるため。	
191 ×		【専門以外の仕上げ法】	
192 ×		222 ×	
193 ○		223 ○	
194 ×		224 ○	
195 ×		225 × 図はかまぼこ彫り。	
196 ○		226 ○	
197 ○		227 ×	
198 ×		228 × 平滑・綺麗に仕上がる。	
		229 ○	

- | | | | |
|-----------------|---|---------------------|---|
| 230 | × | 263 | □ |
| 231 | □ | 264 | ハ |
| 232 | イ | 265 | ニ |
| 233 | ニ | 266 | □ 半透明色は点灯時と消灯時の色差
が少ない。 |
| 234 | ハ 木理とは木目のよい方向なので、
反りとは関係ない。 | 267 | ハ |
| 235 | イ | 268 | ハ |
| 236 | イ | 269 | □ |
| 237 | □ | 270 | ハ |
| 1級シート | | 271 | ニ |
| 【専門仕上げ法】 | | 272 | ハ スリッターは、粘着シートのロー
ルを切断する際に使用する。 |
| 238 | ○ | 273 | イ |
| 239 | ○ | 274 | ハ |
| 240 | ○ | 275 | ハ |
| 241 | × | 276 | ニ フッ素樹脂コーティングは耐候性、
対汚染性に優れ、適度なコーティ
ングにより重ね貼りも可能だがイ
ンク等の印刷は不可能。 |
| 242 | ○ | 277 | イ ガラスビーズが集まっている。 |
| 243 | ○ | 278 | □ |
| 244 | ○ | 279 | ハ |
| 245 | × | 280 | ニ |
| 246 | × | 281 | ハ |
| 247 | × 一般的には25~100ミクロンの厚
み。 | 【専門以外の仕上げ法】 | |
| 248 | × プロッタは、図形の情報を出力す
るもの。 | 282 | × |
| 249 | ○ | 283 | × |
| 250 | ○ | 284 | ○ |
| 251 | ○ | 285 | イ |
| 252 | × | 286 | イ |
| 253 | ○ | 287 | ハ |
| 254 | ○ | 288 | □ ランニングソーは大型（大判）の
板を直線に切断する。板を台上に
固定させ、丸鋸が直線を移動する。 |
| 255 | × 塩化ビニル板が最も強い | 2級共通 | |
| 256 | ○ | 【広告物の種類及び構造】 | |
| 257 | × | 289 | ○ 社団法人全日本屋外広告業団体連
合会「屋外広告ハンドブック 第
2版」P80 |
| 258 | × | 290 | ○ |
| 259 | ○ | 291 | ○ |
| 260 | ○ | | |
| 261 | ○ | | |
| 262 | ○ レーザーカッターマシンにより切
断すると、切り口が平滑・透明で
綺麗な仕上がりとなる。 | | |